

菜園雑学 NO3 平成16年10月6日
秋まき 莢(さや)エンドウの栽培 神奈川県農業共済組合

(農家の皆様が自家菜園として野菜を作る時に参考にしていただければ幸いです。)

栽培のポイント

連作は避けましょう。連作障害を起こす典型的な作物です。

酸性土壌を改良しましょう。土壌のPHを調べて適正な苦土石灰等を施用しましょう

適期に播きましょう。幼苗期は寒さに強く越冬できますが、生育が進んだ状態での越冬は寒害を受けます。

1 は種時期と収穫時期 (三浦半島を除く県内全域)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
下旬	上旬								

は種期					追肥		支柱立て	収穫期	

2 品種 スナック系 スナック スナック753

きぬさや系 白星 鈴成り砂糖 大さや系 松戸大莢 日本大莢

3 施肥 a当たり(100m²当たり)

元肥 牛糞堆肥 150kg 苦土石灰 10kg 燐加安42 6kg ハイマグB重焼燐
3kg (a当たり成分量 チッソ0.8 kg リン酸1.8kg カリ0.8kg)

(元肥は、播種7日前までに施用し耕うんします。)

4 まき方

畦幅1.5~1.8m 1条まき 株間20~25cm。1ヶ所3~4粒播種します。(発芽後1ヶ所2株にします。)覆土は2~3cm。は種量はa当たり 0.3~0.4

(畦の作り方は、土壌条件によって変わりますが、一般的には畦幅約60cm、通路幅は90~120cmとします。排水の悪いところは畦を高めにつくります。)

5 追肥 施肥例 a当たり(100m²当たり)

NK化成2号 2kg NK化成2号 2kg

(a当たり成分量 チッソ0.6 kg カリ0.6kg)

6 支柱立てと蔓の誘引

2~3mごとに鉄パイプ等の支柱を立てキュウリ用のネットを張ります。(ネットがない場合は、竹やカラー鋼管等の支柱を株ごとに立てます。)蔓が伸びて来たら蔓の倒伏を防ぐためにポリテープを30cm程度の幅で横に張り蔓を支えます。

7 その他

連作障害を回避するために1回作付けたら3年以上休閑します。

ポリ鉢等を利用した移植栽培も可能です。

参考文献 神奈川県野菜優良種導入指針ほか